

適応指導教室(チャレンジ教室)の運営活動

心理的・情緒的原因等からくる不登校の子どもに対するカウンセリング、体験活動、学習支援、集団生活への適応指導を行い、学校復帰並びに社会的自立への支援をします。

適応指導教室の運営

対 象

- 登校を渋りがち、或いは断続的欠席、長期欠席をしている児童・生徒（病気欠席を除く）

内 容

- 子ども一人一人に応じた学習指導
- 基本的生活習慣を身につける指導
- 社会性を育てる体験活動
- 友人関係や様々な人とかかわり、集団適応力を磨く
- 学校、家庭と連携し、子どもの学校復帰を支援

開室日時

- 開 室 日：町内小・中学校の学業日に準ずる。
- 開室時間：午前 9：00 ～ 午後 2：30
(毎週水曜日のみ…午前 9：00 ～ 午前 11：30)

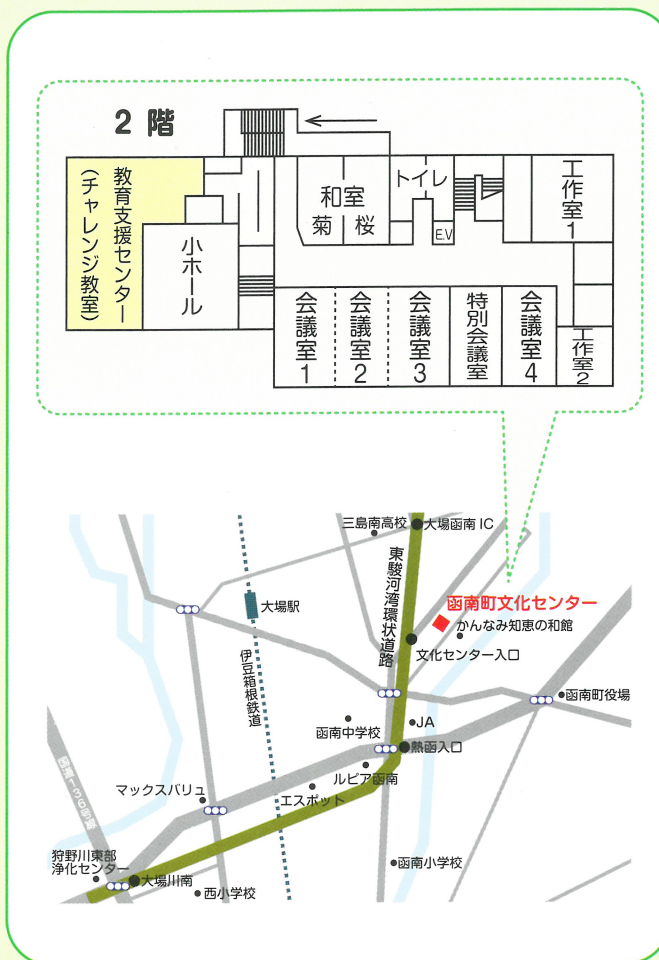
見学・入級等の手続きについて

①見学・申し込み	保護者が学校と相談の上、見学希望を学校に申し込む。
②見学・面接	学校・チャレンジ教室・保護者で日程調整し見学・面接を実施。
③体験通級	子どもが、自分の意志で通級できるかチャレンジする。
④正式入級	保護者より学校へ入級願いを提出。学校から教育委員会へ入級依頼書を提出。

適応指導教室(チャレンジ教室)

☎055-979-5541

教育支援センターへの案内図



函南町教育支援センター

〒419-0122 田方郡函南町上沢 81 函南町文化センター 2F

TEL 055-979-5611

電話受付時間 13:00 ~ 16:30

(月曜日・水曜日のみ)

教育支援センター ご案内



困っていることや
心配なことがありましたら
お気軽にご相談ください。

函南町教育支援センター

教育支援センターの機能

子どもたちを「見つめ」、子どもたちに「かわり」、学校と家庭、関係機関を「つなぎ」、子どもたちの「未来を拓く」ことを第一に活動しています。

複雑化・多様化した児童・生徒の諸課題に的確に対応するためには、学校・家庭・関係機関などがそれぞれの役割を明確にし、互いに協力して組織的な対応をしていくことが重要です。その一翼を担い厚みを加えていくのが教育支援センターの役割です。

教育相談支援

学校生活への適応や
子育て全般を
支援する教育相談

学校教育支援

- ①学校支援
学校不適應等の諸問題
解消をめざした支援
- ②研修等支援
教職員の資質や指導力
向上を図る研修

適応指導 教室の運営

不登校児童・生徒の
学校復帰
社会的自立を
目指す支援

教育支援センター・スタッフ

相談部 5名	センター長・チーフカウンセラー・スクールソーシャルワーカー・ 言語聴覚士・生徒指導支援専門監
適応指導教室 3名	室長・指導員(2名)

教育相談支援

学校、家庭生活等で、子どもをめぐる様々な悩みや不安・問題点等の解消に向けて、専門の相談員が教育相談を実施しています。

相談対象

- 児童・生徒
- 保護者
- 教育関係者他



相談方法

- 来所相談・電話相談・訪問支援について
 - ・来所相談…電話予約
毎週、月曜日・水曜日
13:00～16:30
 - ・2回目以降、定期相談也可
 - ・電話相談…毎週、月曜日・水曜日
13:00～16:30
 - ・訪問支援…要望・実態に応じて

相談内容

- 登校渋り、不登校、いじめ、子育ての困り感
- 発達支援、就学相談、学校が抱える諸問題等
 - ・内容によっては、専門機関と連携して対応

相談時間

- 予約可能な来所相談の曜日・時間
 - ・月曜日～金曜日(休日は除く)
13:00～16:30
 - ・**秘密は厳守します。費用はかかりません。**

教育支援センター・相談電話番号

☎055-979-5611

学校教育支援

学校に対して、「学校不適應等の諸問題解消を目指した支援」や「教職員の資質や指導力向上を図る支援」を行います。

学校支援

- 支援対象
様々な問題(不登校・発達障がい・いじめ問題行動・虐待等)を抱える児童・生徒への支援
学校不適應等の解消をめざす「校内組織」への支援
- 支援方法
「校内支援チーム」の体制づくりや「連絡調整」「校内ケース検討会」への専門家の派遣・参加
(発達心理士・言語聴覚士・SC・SSW・外部関係機関他)

研修等支援

- 支援対象
町立小中学校教職員
- 支援方法
子ども理解や教師のかかわり方等を学ぶ研修
「いじめ防止等生徒指導に関する研修」(年5回)
「不登校未然防止に関する研修」(年5回)
「アセスメント活動の具体化研修」(随時)

